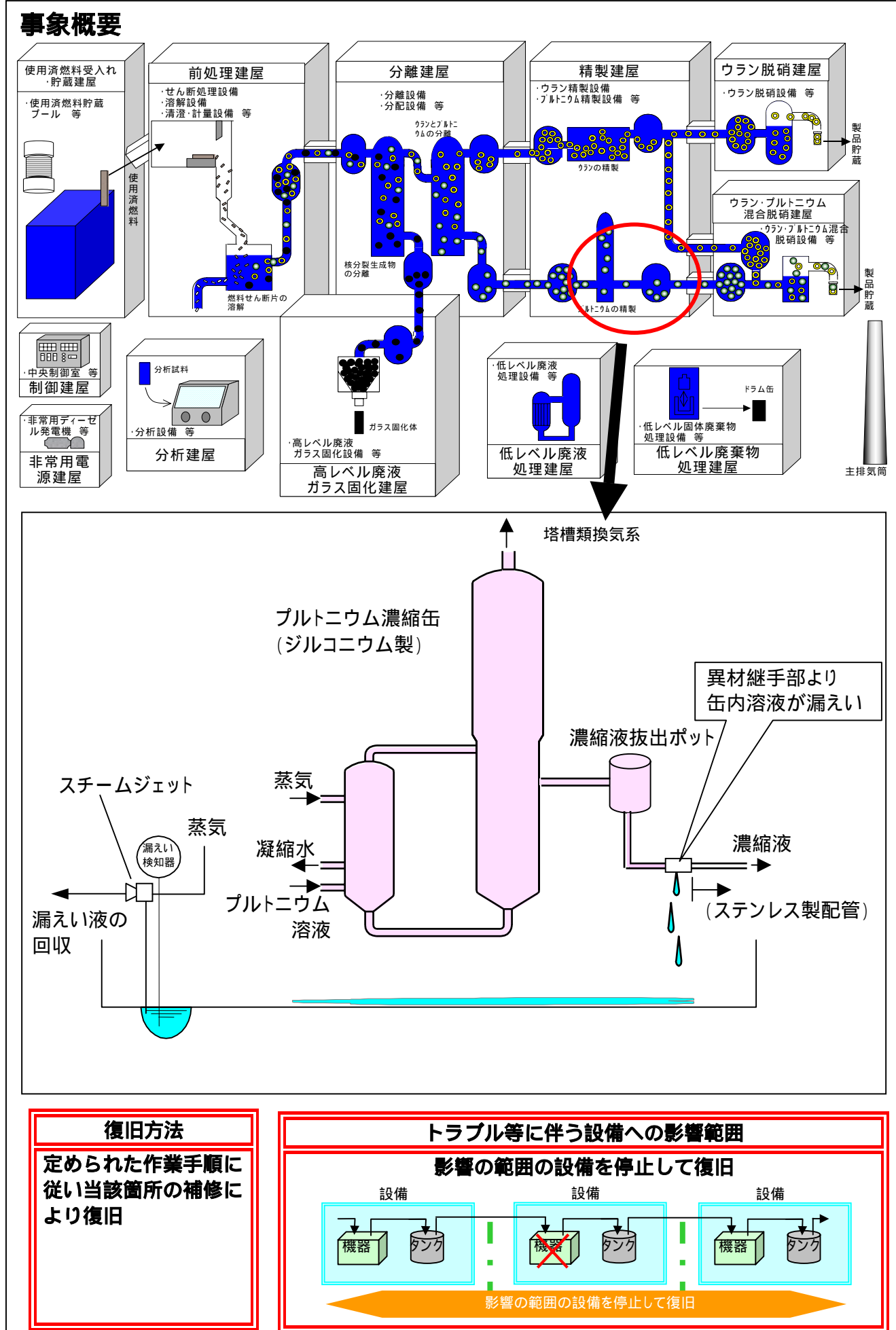


# 再処理工場で発生が予想されるトラブル等とその対応

(No. 2 - 20)

<b>件名</b>	プルトニウム濃縮缶の異材継手からの漏えい																		
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 精製建屋: プルトニウム濃縮缶</p> <p>(2) 設備の概要 有機溶媒(油)中に抽出したプルトニウムを硝酸(水相)に移行(逆抽出)させた後、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋に供給する前に濃縮処理する機器。</p> <p>(3) 発生の状況 プルトニウム濃縮缶の運転中</p> <p>(4) 概要 プルトニウム濃縮缶の液面より下の高さにある液面に浸かっている異材継手(ステンレスとジルコニウムの接合部分)から缶内溶液が漏えい。</p> <p>(5) 原因 運転を継続する中で生じる継ぎ手部の経年劣化</p>																		
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 放射性物質を除去するフィルタ等を有する精製建屋換気設備が稼働している室内でおきた事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。なお、漏えいした硝酸プルトニウム溶液は、プルトニウム精製設備にて適切に処理する。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> セル内には漏えい液受皿及び漏えい検知器が設置されており、漏えいを検知し、セル内に隔離した状態で漏えい液を回収するとともに、当該システムの運転を停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。なお、漏えい液受皿はセル内で漏えい量が最大となる機器から漏えいしたことを想定しても臨界にならない設計としている。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 漏えいした溶液の回収作業は、セル外からの遠隔作業であるため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>上流、下流の工程の運転に影響が生じる。</b> プルトニウム濃縮缶の停止により、上流及び下流の工程の運転に影響が生じる。</p>																		
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 漏えい検知ポットで検出された出水の液位監視を強化し、試料を採取・分析してプルトニウム濃縮缶まわりの漏えいであることを確認する。</p> <p>(2) 漏えい液受皿に漏えいした溶液はスチームジェットにて回収を行う。</p> <p>(3) 当該設備の復旧に時間を要する場合には、工程内の残液を適切に処理した上で、工程を停止状態に移行する。</p> <p>(4) セル内工事の計画を作成し、復旧作業を行う。</p>																		
<b>公表区分</b> <sup>*1</sup>	夜間・休祭日を問わず速やかに公表(プレス発表)																		
<b>情報区分</b> <sup>*1</sup>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="3">運転情報</th> </tr> <tr> <th>A情報</th> <th>B情報</th> <th>C情報</th> <th>ごく軽度な機器故障</th> <th>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</th> <th>不適合等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	トラブル情報			運転情報			A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等						
トラブル情報			運転情報																
A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等														



\* 1 「A 情報」:安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、「B 情報」:事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、「C 情報」:A、B 情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象